

オンライン園見学 2 歳の環境 第 54 回保育環境セミナーより

第 216 号 2021 年 4 月 19 日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

オンライン園見学（2歳の環境）

今回は第 54 回保育環境セミナーのオンライン園見学より、
新宿せいが子ども園の 2 歳の環境のポイントなど、
職員の森口先生が園内を案内した際の内容です。

2 歳の環境です。テラスもあり自転車遊びなどが出来たりしています。
2 歳児は徐々にゾーン遊びが出てくるかなと思います。2 歳位から目的を
持って子どもたちが遊びをし始めます。顕著にブロックをしたい、積み木
をしたい、乗り物に乗りたいという気持ちが出てくる。ゾーンもだんだん
と作られてきます。1 歳後半でゾーンを作っても、本当はここで遊ぶんじ
ゃないのに！とかあるが、それは発達に合っていない環境なのかなと思
います。なので、2 歳頃から徐々にゾーンを作り始めます。レールを繋げ
たりすることが出来るものが置いてあったりします。

2 歳位の時に大小比較などが出来るようになるので、乗り物を繋げて遊ぶ
ことで、これは短いとか、長いとか遊びながら大小比較、量の比較が出来
てくるのでそれを伸ばしてあげます。抽象的なイラストで表示すること
で、見立て遊びも発達していくため抽象的な物になっています。また、
気持ちを落ち着かせるようなソファなども必要かなと思います。丸テー
ブルですが、子ども同士の結びつきが強くなり、横の繋がりが出てくるの
で、子ども同士向き合うことが出来たり、互いに遊べるようにしたり字を
意識するような環境にもなっています。

自分で取り出せるような環境だったりしています。奥はママごとゾーンと
呼んで、345 はごっこゾーンと呼んでいます。2 歳では身の回りのことな
のでママごとゾーン、345 は社会に出ていくのでごっこゾーンと呼んでい



ます。低いスペースがあったり、ロフトから見下ろす環境があったり、上から見下ろすことで脳のシナプスに刺激があり、大切な刺激になっていると思います。

2歳の食事スペースです。01と同じように2歳も、345が奥で食事をしている様子を2歳も見えるようになっています。345に上がった時にどう振舞ったらいいのかを刺激できるようにしています。少し上の発達がある環境にしています。同年齢だと刺激が少ないかもしれませんが、上が見えることで刺激があるかなと思います。「ちょっと」や「いっぱい」、1個2個の概念が分かるので掲示するものがあったり、声掛けをしたり、バイキングで少しずつ聞き始めていきます。おかずはまず普通に盛って、増やすか減らすかを子どもたちに聞いていきます。

■参考著書

『MIMAMORU 見守る保育』(Gakken保育Books)

著者：藤森平司

出版社：学研プラス(2010/10/13)

発売日：2010/10/13

内容：

実践から提案する保育カリキュラム。こどもの自己成長能力を信じ、こども同士の関わりと、こども自らの選択による活動を保障する、「見守る保育」の環境づくりが丁寧に解説されている。保育・幼児教育の課題発見、「保育の質」の向上へのヒントとなる一冊。

『0・1・2歳の「保育」』(見守る保育2子ども同士の関係から育つ力)

著者：藤森平司

出版社：世界文化社(2012/8/24)

内容：

保育園・幼稚園など保育者に向けた理論書です。認定こども園の拡充、待機児解消など、これからの保育の流れの中で一番注目を集めるのが0・1・2歳児の保育です。この本では、従来重要とされてきた「特定の保育者と子ども二者間の信頼関係」ではなく「子ども同士の関係性」を基本とした新しい乳児保育を提案。なぜ、そうあるべきかを豊富な写真と平易な文章でわかりやすく解説します。